



# 山形市立第一中学校

## いのちの縦糸と横糸が織りなす『魂の教育』

### はじめに

本校は、昭和54年4月1日、旧山形一中と東沢中の2校を統合し、新設校として発足した統合中学校で、今年度35周年を迎えます。両校の輝かしい伝統を踏まえつつ、地域・保護者の大いなる期待と、生徒の学校生活に寄せる熱い意欲、そして教師の教育愛を基盤に未来を指向し、限りなき前進を目指す個性豊かな人間の育成を図っています。

### 教育実践の柱「一中いのちの日」

本校の教育目標である「いのちの縦糸と横糸が織りなす『魂の教育』」。一人一人が「いのち」と向き合いながら、仲間と様々なことを語り合い、互いに認め合い、感性を磨き、「いのち」を輝かせて生きる生徒を育てたいという思いから、毎月第一木曜日を「一中いのちの日」と定め、「いのち」について考える様々な取り組みを行っています。

#### いのちの「縦糸」と「横糸」とは？

いのちの縦糸…過去・現在・未来と流れる

いのちのつながり

いのちの横糸…今ある人やものとのつながり

#### 「一中いのちの日」これまでの活動

いのちのマークペイント、読み語り、友へのハートフルメッセージ、校長講話、被爆ピアノコンサート、命の大切さを学ぶ教室など。



### 一中讃歌

(平成25・26年度)

1年に5回、各テーマにそった内容について、生徒一人一人が讃歌を作成します。心と向き合い、思いをつづった讃歌は、とても素敵なものばかりです。

**修学旅行**  
三年 成尋 祥太  
見知らぬ土地に行き、  
知ってからの旅の跡だけ  
それが一番の思い出

**出発**  
一年 仁藤 栞木  
新しい春を迎えて  
花が満開のや  
僕は学校に入ってきた  
僕が生活の糧を持っている  
出発の汽笛が  
辺りには、鳴り響く

**春闘**  
三年 木口 里織  
春の日差しのように  
ほんのりと差す希望がある  
春の草木が芽吹くように  
大きな期待が生まれる  
春の花が舞い散るように  
小さな不安がよぎる

**取組大会**  
二年 石倉 夢現  
入学式後最初のイベント  
走るときの  
その姿を皆から押す  
僕の活躍  
皆一戦は  
こころをいかに磨いたのか  
教えてくれる

**「あはれ」**  
一年 星水 香那  
あはれ、なんたろう  
友達と話すのときの  
自分からあはれかけられた  
これって「あはれ」ってなんなのかな  
「あはれ」って、いい  
暖かかった世界が明るくなっていく  
世界をもっとあはれそう  
あはれには、輝かすぞ

平成26年10月8日発行

### 「一中讃歌」

国語科と各学年が連携し、年5回、季節や行事に合わせ、自分の思いを短歌形式で書き表す創作活動を行っています。季節の移り変わりの中、日常生活の中で見つけた小さな発見や、学校生活で味わう喜怒哀楽などの感情を、生徒自身のことばで豊かに表現させることを目指しています。優秀作は「一中讃歌文学賞」として表彰されることもあり、生徒達の関心も高く、お互いの作品を読み合い、認め合う雰囲気が自然に醸成されています。

### 生徒が互いに高め合う質の高い授業を目指して

山形市教育委員会より平成24年度から3年間の委嘱を受け、10月15日、公開研究発表会を開催しました。

研究主題を「『かかわり』を通して、思考力・判断力・表現を高め合う授業の創造」とし、身につけた基礎・基本を活用し、思考力・判断力・表現力を高め合う生徒同士の「かかわり」のあり方を研究の中核に据えました。山形市内はもとより、広く県内から500名を超える先生方を迎え、実り多き公開研究発表会とすることができました。

